

令和2年度事業報告

I 総務事業

1 管理運営事業

(1) 会議等の開催

ア 定期総会

開催日 5月29日(金)
会場 ふじさんめッセ 展示場
内容 令和元年度事業報告について
令和元年度収支決算について
令和2年度事業計画(案)について
令和2年度収支予算(案)について
役員選任(案)について

イ 理事会

第1回理事会

開催日 5月11日(月)
会場 富士商工会議所 3階会議室
内容 令和元年度事業報告について
令和元年度収支決算について
令和2年度事業計画(案)について
令和2年度収支予算(案)について
役員選任(案)について

第2回理事会

開催日 5月29日(金)
会場 ふじさんめッセ
内容 理事長の選出及び役付理事の選任について

第3回理事会

開催日 10月15日(木)
会場 ロゼシアター 第4会議室
内容 令和3年度予算編成の考え方について
令和3年度職員採用について
令和2年度上半期事業報告について
令和2年度上半期予算執行状況について
令和2年度上半期新規入会会員報告について

第4回理事会

持ち回り開催

開催日 11月20日(金)

- 内 容 令和2年度一般会計補正予算（案）について
・観光庁、静岡県補助事業の採択に伴う補正

第5回理事会

- 開催日 3月24日（水）
会 場 ロゼシアター 第4会議室
内 容 令和3年度事業計画（案）について
令和3年度収支予算（案）について
新規職員採用について
借り入れ口座の開設について
令和2年度下半期新規入会会員報告について

（2）旅行業の登録

- ア 富士・富士宮地区の観光資源や観光事業者の紹介などに加え、ツアー造成をはじめ事業者への取り次ぎ・斡旋・予約等を行い組織強化を図るため、旅行業（地域限定旅行業）の登録を行なった。

2 企画調整事業

（1）セミナー・研修会等開催事業

- ア 地域の観光人材のインバウンド対応能力強化研修（初級）の開催【観光庁補助事業】
- 開催日 2月18日（木）・24日（水）
会 場 ふじさんめっせ 会議室
参加者 29人／18日 21人／24日 合計50人
講 師 全国通訳案内士 相澤宏代氏
渡辺健一郎氏、夫津木まり氏（サポート講師）
内 容 アフターコロナを見据えた地域の観光業に携わる人材の英語力強化研修

（2）広報宣伝事業

- ア 広報紙の発行
会員及び全国のコンベンション・ビューロー、近隣のエージェント等に送付し
富士地域の情報や当ビューローの活動内容を広報した。
4回発行／年 （各900部）
- イ ウェブサイトの改修・追加
・富士エリアサイクリングガイド公式ウェブサイト
・英語ページの追加
Fuji City Guidebook（富士市観光ガイド）
Mt. Fuji Area Experience Spot Map（富士エリア体験スポットマップ）
Fuji City Flower Map（ふじ花どこマップ） 2件【静岡県補助事業】
- ウ SNSを活用したプロモーション
フェイスブック等を利用し、タイムリーな観光情報やビューローの取組等を随時

更新し、富士地域の広報宣伝に努めた。

3 新富士駅観光案内所運営事業

(1) 新富士駅観光案内所の来訪状況

コロナ禍による閉所期間 4月18日(土)～5月31日(日)

6月1日(月)～30日(火)の各土日

ア 新富士駅観光案内所来訪者への観光、宿泊、交通及びイベント案内等を行った。
(年間実績)

案内所来訪者数	8,215人	(昨年比	-24,046人)
うち外国人	119人	(昨年比	-8,075人)
外国人比率	1.4%		
※宿泊案内件数	富士市内	47件	(昨年比 -230件)
	富士宮市内	17件	(昨年比 -110件)
	その他	3件	(昨年比 -42件)
	合計	67件	(昨年比 -382件)

(2) 情報収集発信事業

ア 富士山情報

登山道及び静岡県側の五合目アクセス道路の閉鎖情報を発信した。

イ その他情報提供

- ・富士地域の観光情報や公共交通の案内等を、モニターを使用しリアルタイムで提供した。
- ・コロナ禍の会員飲食店や宿泊事業者、観光施設の新企画や状況等を、SNSを利用して即時性のある情報を提供した。
- ・来訪者自身のSNSから富士地域の情報や感想、体験等を発信する「SNS投稿キャンペーン」を継続実施した。

ウ 情報収集

- ・JNTOのオンラインセミナーにて、中部ブロックの案内所と情報交換を行った。

エ リーフレットの作製

- ・富士市内の桜情報を掲載した桜マップの作製及び既存のふじ花どこマップに英訳を加え増刷し、案内所ほか観光施設等で配架した。

(3) 来訪者の利便性向上事業

ア 手ぶら観光サービス

御殿場市観光協会、富士河口湖町観光連盟との連携による、荷物の各案内所、宿泊先へ相互配送と空港への配送、荷物預かりによる富士山周辺観光を楽しむことができるサービスを提供した。

(実績)	相互配送	0件	(前年比 -2件)
	宅配	127件	(前年比 -132件)
	荷物預かり	15件	(前年比 -324件)

(4) おもてなし事業

ア 富士山が見えない日に発行する、富士山信仰に因んだ「見えなかった証明書」を来訪者に配布した。

配布数：男前証明書	142枚	(昨年比 -1,090枚)
べっぴん証明書	113枚	(昨年比 -907枚)
合計	255枚	(昨年比 -1,997枚)

イ AR(拡張現実：COCOAR)を活用し、視覚で楽しむサービスを提供した。

内容	動画	5メニュー(観光案内、広報紙など)
	静止画	1メニュー(富士山フレーム)

提供期間	4月～3月(12ヶ月)	再生回数	94件
------	-------------	------	-----

(5) レンタサイクルサービス

ア 自転車無料貸出事業

新富士駅来訪者を対象に、散策用の自転車11台を貸し出した。

貸出数：	183人	(昨年比 -467人)
うち外国人	6人	(昨年比 -204人)
外国人比率	3.3%	(昨年比 -29%)

※コロナ禍による貸出休止期間 4/11～7/11、12/1～21/1/23

イ モデルコース紹介

レンタサイクルを利用した散策用モデルコースマップ(日英併記)を配布し、利用者の利便性を図った。

(6) 収益事業

ア バスチケット販売

コロナ禍による運行自粛の中、大石寺等一部のバスチケットを取り扱った。

※運行休止期間

高速バス	成田線	3/19～	東京線	4/5～	大阪線	4/9～2/28
路線バス	河口湖線	4/27～9/30	等			

イ デジタルサイネージの活用

宣伝広告用モニターを、富土地域の観光事業者等に有料利用していただき自主財源の拡大を図った。 利用件数 11件

(7) その他

ア 新型コロナウイルス感染拡大防止

- ・英訳をつけた感染拡大防止ポスターの掲示やモニターによる啓発を行った。
- ・案内所カウンターにシールドパーテーションや手指消毒アルコールの設置、顔認証検温システムを導入するなど感染防止対策を行った。

II コンベンション推進事業

1 誘致・開催支援事業

(1) 開催支援

スポーツ大会に、歓迎モニュメントの設置等の支援を行なった。

ア 全国大会の開催実績

- ・大会開催数 1件（昨年比 -17件：内、スポーツ大会 1件）
- ・大会等参加者数 約1,000人（昨年比 -9,450人）

イ 歓迎モニュメント設置実績

設置件数 1件（昨年比 -9件：屋内0件 屋外1件）

ウ コロナ対策特別事業

全国規模のスポーツ大会を開催する富士川緑地整備への支援を行った。

2 調査企画・情報収集事業

(1) 情報収集

主なコンベンション施設に、コロナによる影響や対策、ガイドライン等についてヒアリングを行った。

III 観光振興事業

1 旅行商品企画販売協賛事業

(1) 旅行商品企画事業

ア 旅行会社招聘事業の自粛によりメールにてフォローし、個人旅行者向けにウェブメディアの発信ツールに観光情報を掲載した。

掲載先 ブランジスタ運営サイトの「Travel note」

(2) 富士山しらす街道推進事業

田子の浦しらすのPR及び誘客事業を展開した。

ア 田子の浦港漁協食堂運営支援

団体バスツアーで訪れた後の個人客のリピーター増を推進

年間実績 個人客 42,090人（昨年比 -12,341人）

※漁協食堂のみ

団体客 1,847人（昨年比 -3,062人）

※田子の浦しらす提供全体

合計 43,937人

イ 広告、PR活動

- ・エージェントセールスでの田子の浦しらす飲食店や修学旅行プログラムの紹介や、しらす街道マップを増刷し、PRを行った。
- ・SNSを活用し積極的に情報を発信した。

(3) 産業観光推進事業

ア 農業体験観光

農業体験観光バスツアーによる誘客を行った。

ブルーベリー狩り	バス	8台	来客数	155人
サツマイモ掘り	バス	4台	来客数	178人
合計	バス	12台	来客数	333人
		(昨年比 - 59台)		(昨年比 - 1,498人)

イ その他の農業観光

富士山の絶景ポイント大淵笹場のお茶畑撮影ツアー

バス	56台 (昨年比 + 9台)
来客数	1,274人 (昨年比 + 81人)

ウ 真夏の直売会

コロナ禍により落ち込んだブルーベリー狩りや富士のお茶の観光需要の低迷から直売会を開催し支援した。

開催日	7月11日(土)、25日(土) 8月8日(土)
会場	富士川楽座 ふじのくに楽座市場
出店者	ブルーベリー事業者 4軒 茶事業者 2軒
内容	生ブルーベリーと加工品、茶葉等の販売

(4) 「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」実証事業【観光庁補助事業】

観光庁の新型コロナウイルス対策の緊急支援事業に応募し採択され、富士地域のサイクルツーリズムの魅力を国内外に発信する事業を展開した。

主な事業内容

- ・レバンテフジ静岡監修で造成したサイクリングコースの観光情報紹介動画やグーグルマップと連動したサイクリングガイドマップを作製、配布するとともに、富士市内2箇所に観光情報も組み込んだ看板を設置
- ・ビューローウェブサイト「富士サイクリングガイド」ページを新規作成し、YouTubeでの動画配信などサイクリング関連情報を発信
- ・サイクリスト情報誌 Cycle Sports や、旅行読売、観光経済新聞へ記事を掲載
- ・日本の魅力を海外向けに発信 (Only in Japan) する人気外国人ユーチューバーにより、富士地域の魅力を世界に向けて発信
- ・携帯用除菌ティッシュを作製、配布し新型コロナウイルス感染拡大防止啓発
- ・東京都内サイクルカフェ2店舗で、富士市食材を使用したメニュー提供と富士地域のPRイベントを実施 (1/24~2/28)
- ・イーバイク、電動アシスト付き自転車を貸し出し、利用者アンケートから、今後のサイクルツーリズムの課題等を検証 (1/24~2/24)
- ・ウェブセミナー「富士山NEWサイクリングコースの可能性」の開催
登壇者 小長井義正氏 (富士市長)
二戸康寛氏 (レバンテフジ静岡監督兼代表)

佐野淳哉氏 (レバンテフジ静岡キャプテン)

絹代氏 (サイクルライフナビゲーター)

ジョン・ドーブ氏 (ユーチューバー)

ルース・マリー・ジャーマン氏 (インバウンド有識者)

- ・レバンテフジ静岡の選手やインフルエンサー、地元サイクリストのサイクリングコース試走による情報発信とコースの検証

2 企画イベント事業

(1) 企画・イベント事業

- ア 新富士駅富士山口西側に、昨年よりエリアを拡げてイルミネーションを設置し、富士市の玄関口に癒しの空間を演出した。

設置期間 11月30日(月)～2月28日(日)

(2) レンゲの里づくり推進事業

- ア 吉永地区の富士山と新幹線の写真撮影スポットを活かすため、圃場の耕作者にレンゲ畑づくりの演出を依頼した。

3 協賛・補助事業

(1) 祭りやイベント等の協賛、助成事業

- ア 新型コロナウイルス感染拡大により富士市内の祭りやイベントが中止となる中、悪疫退散を起源とする吉原祇園祭の特集記事を静岡新聞に掲載した。

イ 富士の山ビエンナーレ事業助成

ウ 各種大会、イベント等への後援 年間実績(申請) 14件

(2) 旅行会社ツアー開催支援事業

コロナ禍における観光誘客特別対策として、富土地域で飲食や宿泊を伴うバスツアーを催行した旅行会社に助成を行った。

期 間 7月1日(水)～3月31日(水)

ツアー催行 8件

4 観光宣伝事業

(1) 観光誘客事業

- ア 新型コロナ感染状況を踏まえ、静岡県西部のほか、長野県、山梨県、大阪府、愛知県の旅行会社にセールスを行い、田子の浦しらす、産業観光体験、岳南電車、岩本山公園などをコースに組み入れたツアーや教育旅行が企画・実施された。

旅行会社訪問件数 11回 延べ75カ所

年間誘客実績

バス台数 119台(昨年比 -285台)

誘客ツアー参加者 2,819人(昨年比 -8,772人)

※延べ4,919人

イ 観光広告事業

地方紙を中心に観光関連企画等に協賛広告を提供した。

ウ 龍巖淵で、桜の開花時期に合わせ、ツアーバスの駐車場確保や仮設トイレの設置、また、ビューロー会員に依頼し土産品等の販売を行った。

(年間実績のうち) バス台数 14台 (昨年比 - 52台)
ツアー参加者 215人 (昨年比 -1, 639人)

エ インスタフォトコンテストの実施

ウェブサイト上で手軽に参加できる富士山の写真コンテストを実施し、入賞作品は新富士駅観光案内所モニターで紹介する他、卓上カレンダーを作製販売するなど、観光PRにも活用した。

応募期間 8月1日(土)～11月30日(月)

応募人数 65人 (昨年比 - 18人)

応募点数 998点 (昨年比 +129点)

オ 富士地域体験スポットマップ作製

富士地域の体験観光メニューと施設情報を掲載したマップを作製し、誘客ツールとして活用するとともに、マイクロツーリズムにも対応した。同時に英語版をウェブサイトに掲載し、海外からの来訪者の利便性を図った。

(2) 観光誘客キャンペーン

ア 商談会参加

ふじのくにしずおか観光大商談会

静岡市ツインメッセ静岡にてオンラインにより実施

首都圏 10月14日(水)

中京・関西圏 10月27日(火)

イ 観光PR展の開催

富士宮市観光協会との共同事業として、中部横断自動車道開通を見据えた誘客を目的に富士地域観光PR展を開催した。

イオンモール松本(長野県松本市)

11月7日(土)～8日(日)

(3) 富士まつり啓発事業

ア ウェブサイトによる啓発活動

かぐや姫コンテストの募集サイトを更新し広報した。

(4) しずおか観光安全安心づくり運動推進事業

【静岡県補助事業】

ア コロナ感染予防対策実施施設認定ステッカー作製

会員宿泊事業者、飲食店、観光施設等へ訪問及び聞き取り調査を実施し、安心して利用できる施設として紹介するステッカーを作製、配布したほか、ウェブサイトに掲載し情報発信した。 配布先 121施設

イ 新しい生活様式を踏まえた富士地域の観光啓発

来訪者が安心して観光を楽しむことができる啓発漫画と観光情報を掲載したりフレットと携帯用の除菌ティッシュを作製し、新富士駅観光案内所ほか観光施設等で配布した。

(5) 新しい生活様式に対応した観光地域づくり・誘客促進事業 【静岡県補助事業】

ア スマホDE「しずおか富士山スタンプラリー2020」開催

- ・静岡県側環富士山の観光団体連携事業として、コロナ禍におけるマイクロツーリズムの観点から、4市（富士市、富士宮市、御殿場市、裾野市）を周遊する非接触型のスタンプラリーを企画・実施した。

開催期間 8月1日（土）～10月4日（日）

周遊ポイント 20箇所（4市内観光施設等）

参加者 620人

- ・世界遺産富士山の構成資産を巡るスタンプラリーの実施（静岡県委託事業）

開催期間 8月1日（土）～10月4日（日）

周遊ポイント 7箇所

参加者 331人

5 富士山百景PR事業

(1) 富士山百景写真コンテスト支援事業

- ア コンテスト入賞作品の写真集（有料）やPRリーフレットを作製しコンテストを支援した。
- イ ウェブサイトの更新と活用
 - ・ビューローウェブサイト内「富士山百景フォトギャラリー」の写真データや募集紹介サイトを更新した。
 - ・旅行会社、新聞社等に写真を提供し広く事業をPRした。
- ウ 入賞作品やコンテストの紹介記事を新聞掲載し、写真展に代わるPRとして支援した。

(2) 富士山百景写真展の開催

- ア 富士地域の観光啓発と富士市の観光事業の知名度の向上を図るため、富士山百景写真展を4会場で開催した。
 - ・富士市 富士川楽座 12月 1日(火)～27日(日)
 - ・長野県松本市 イオンモール松本 11月 7日(土)～ 8日(日)
 - ・大阪市北区 大阪市中央公会堂 10月29日(木)～30日(金)
 - ・牧之原市 富士山静岡空港 8月 8日(土)～22日(土)
2月20日(土)～28日(日)

6 観光施設整備事業

(1) 観光トイレの清掃管理

- ア 富士市シルバー人材センターに委託し、観光や周辺ウォーキングに多くの人を訪れる2箇所の寺院(実相寺・瑞林寺)に設置されたトイレの清掃管理を行った。

7 観光ボランティアガイド養成事業

(1) 養成講座の開催

広報ふじ等で受講生を募り、観光ボランティアガイド養成講座（全10回）を開催し、富士市の観光の人材育成を図った。

期 間 9月24日(木)～11月26日(木) 受講生 15人

8 岩本山・雁堤活用事業

(1) 「絶景☆富士山 まるごと岩本山」

期間中のイベントを企画運営、富士市観光ボランティアガイドによるおもてなし事業「花咲案内人」の委託等を行った。

期 間 2月 1日(月)～4月11日(日)

なぞ解き！イワモトレジャー

期間中開催 参加者 415組

#岩本山インスタフォトコン

期間中開催 応募者 212人 作品数 1,110点

疫病退散の祈祷と梅の苗木植樹によるオープニング 2月 1日(月)

花見DE写真撮影会

3月 7日(日) 参加者 43人 *3/28は雨天のため中止

夜桜プレミアムライトアップ～極上の夜景を添えて～

3月25日(木)～4月 2日(金) 来場者 3,804人

*3/28は雨天のため中止

9 観光商品開発事業

(1) 観光商品作製

登録商標「日本一に会う。」を使用した抗菌マスクケースやミニトートバッグを作製、販売した。

10 駐車場運営事業

(1) 新富士駅東駐車場管理事業

新富士駅構内の事業者向けの駐車場の管理運営を行った。